

地域科学特別演習Ⅰ

地域科学特別演習Ⅰ

8単位 (必修) 1年(通年), 2年(通年)

小山 保夫・教授 / 地域科学専攻 (博士前期課程) 環境共生

【授業目的】 修士論文の作成の指導を行う。学生は論文を書く機会が少ないことから、複数回、論文形式のタームペーパーを課し、内容に見込みのある場合はペーパーを投稿論文の水準にまで高めるトレーニングを行う。あわせて、研究成果の発表方法 (魅力あるパワーポイントスライドやレジメの作成方法、口頭報告の方法) も習得させる。

【授業概要】 基本的にはトムソン・ロイターデータベースに掲載されている学術誌に掲載される「筆頭著者論文」の作成が可能なように指導する。先行研究のデータを効率的に把握し解釈する。論文の成否を分ける魅力あるテーマ設定と章立てを行う。論文執筆の一連の過程において、先行研究を踏まえた独自の視点、方法論の適切さ、結論の説得性などに常に留意できるようになる。

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】 筆頭著者論文が学術誌に受理されるように基礎力を付ける。

【授業計画】

1. 研究課題の設定
2. 研究課題に関する先行研究の調査
3. 理論と方法論の選択 (質的調査あるいは量的調査)
4. 論文の章立て (実験計画)
5. 実験と結果の文章化および図表化 (1)
6. 実験と結果の文章化および図表化 (2)
7. 実験と結果の文章化および図表化 (3)
8. 実験と結果の文章化および図表化 (4)
9. 実験と結果の文章化および図表化 (5)
10. 論文形式へ文章化
11. 投稿規定に合わせた論文化 (1)
12. 投稿規定に合わせた論文化 (2)
13. 投稿規定に合わせた論文化 (3)
14. 引用文献チェック
15. オンラインで投稿してみよう。
16. 総括

【成績評価】 トムソン・ロイターデータベース掲載の学術誌への論文投稿 (最大) を評価基準とする。

【再試験】 なし。

【教科書】 [教科書]

【参考書】 [参考資料]

【WEB 頁】 <https://web.ait230.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/edb.browse?ACT=BROWSE&XN=article&CLASSIFY=REF=60453&CLASSIFY=article.kind=10443>

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218078>

【連絡先】

⇒ 小山 (総合科学部 3号館 3N06, oyama@ias.tokushima-u.ac.jp) **MAIL** (オフィスアワー: メールで相談内容及び日時を打ち合わせて決定します。時間は有効に使います。)

地域科学特別演習 I

8 units (compulsory) 1st-year(whole year), 2nd-year(whole year)

Yasuo Oyama · PROFESSOR / ENVIRONMENTAL SYMBIOSIS STUDIES, REGIONAL SCIENCES

Target 修士論文の作成の指導を行う。学生は論文を書く機会が少ないことから、複数回、論文形式のタームペーパーを課し、内容に見込みのある場合はペーパーを投稿論文の水準にまで高めるトレーニングを行う。あわせて、研究成果の発表方法(魅力あるパワーポイントスライドやレジメの作成方法、口頭報告の方法)も習得させる。

Outline 基本的にはトムソン・ロイターデータベースに収載されている学術誌に掲載される「筆頭著者論文」の作成が可能なように指導する。先行研究のデータを効率的に把握し解釈する。論文の成否を分ける魅力あるテーマ設定と章立てを行う。論文執筆の一連の過程において、先行研究を踏まえた独自の視点、方法論の適切さ、結論の説得性などに常に留意できるようになる。

Keyword [キーワード]

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Goal 筆頭著者論文が学術誌に受理されるように基礎力を付ける。

Schedule

1. 研究課題の設定
2. 研究課題に関する先行研究の調査
3. 理論と方法論の選択(質的調査あるいは量的調査)
4. 論文の章立て(実験計画)
5. 実験と結果の文章化および図表化(1)
6. 実験と結果の文章化および図表化(2)
7. 実験と結果の文章化および図表化(3)
8. 実験と結果の文章化および図表化(4)
9. 実験と結果の文章化および図表化(5)
10. 論文形式へ文章化
11. 投稿規定に合わせた論文化(1)
12. 投稿規定に合わせた論文化(2)
13. 投稿規定に合わせた論文化(3)
14. 引用文献チェック
15. オンラインで投稿してみよう。
16. 総括

Evaluation Criteria トムソン・ロイターデータベース掲載の学術誌への論文投稿(最大)を評価基準とする。

Re-evaluation なし。

Textbook [教科書]

Reference [参考資料]

Webpage <https://web.ait230.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/edb.browse?ACT=BROWSE&XN=article&CLASSIFY=REF=60453&CLASSIFY=article.kind=10443>

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218078>

Contact

⇒ Oyama (総合科学部 3 号館 3N06, oyama@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: メールで相談内容及び日時を打ち合わせて決定します。時間は有効に使います。)